

2024年11月13日

輸送動向について（2024年10月分）

1. 輸送概況

国内景気は引き続き緩やかな回復にあるものの、食料品を中心に商品値上げ等もあり個人消費の改善には足踏みが見られた。一方、当社においては一部貨物列車で編成両数を減らして運行したものの、物流の2024年問題やカーボンニュートラルの実現に向けた動きを背景に、鉄道利用は堅調に推移し、輸送実績は前年を上回った。

コンテナは、食料工業品が、清涼飲料水及び酒類の需要が引き続き堅調であり、一部顧客における鉄道シフトの取組み等もあり、荷動きが好調となり前年を上回った。また、積合せ貨物は、ドライバー不足への対策の一環として、既存区間における利用増や新規輸送の開始等があり増送となったほか、紙・パルプは、ペーパレス化の進展に伴う紙の需要減が続く中、鉄道シフトの動きや定期修繕を控えた一部顧客の前倒し出荷等により増送となった。コンテナ全体では前年比108.6%となった。

車扱は、石油が、需要減により一部向け先について減送となった。一方、セメントは、顧客工場における定期修繕実施の時期ずれにより前年を上回った。車扱全体では前年比108.2%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比108.5%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,769	1,629	108.6%	10,548	10,353	101.9%
車 扱	694	641	108.2%	4,471	4,522	98.9%
合 計	2,463	2,270	108.5%	15,019	14,875	101.0%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	195	185	9	105.4%
	化学工業品	141	135	6	104.5%
	化学薬品	97	94	3	103.2%
	食料工業品	279	250	29	111.8%
	紙・パルプ	198	177	21	111.9%
	他工業品	110	110	0	100.2%
	積合せ貨物	301	280	21	107.6%
	自動車部品	72	67	4	106.0%
	家電・情報機器	36	31	4	114.3%
	エコ関連物資	48	27	20	173.3%
	その他	286	267	19	107.4%
コンテナ計	1,769	1,629	140	108.6%	
車 扱	石油	463	478	-15	96.7%
	セメント・石灰石	135	70	64	192.0%
	車 両	66	64	2	103.7%
	その他	29	27	1	105.2%
	車 扱 計	694	641	52	108.2%
合 計		2,463	2,270	192	108.5%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)